

(1) 学校教育目標

横浜市立新橋小学校全体構造図

日本国憲法
教育基本法
学校教育法
学習指導要領

横浜版学習指導要領

子ども・保護者・地域・教職員の願い

学校教育目標
えがお・なかよし・チャレンジ
自分のよさや可能性をのばすようにします（知 体）
身近な人々や自然とのふれあいを大事にします（徳 公）
自分の意思で判断し、よりよく解決できるようにします（開）

知 学ぶ楽しさを味わうことができるように人の話をしっかり聞き、ねばり強く学習に取り組む姿勢を育てます。
徳 物事の善悪を正しく判断するとともに規範意識や礼儀を大切にし、人の気持ちを考えて行動する子を育てます。
体 体力作りや命の教育を通して、命・体・心を大切にできる子を育てます。
公 地域にかかわる活動や体験を通して、小さなことでも社会の役に立つために行動する姿勢を育てます。
開 コミュニケーション能力の育成を通して社会への視野を広げ、共に生きる心を育てます。



各教科等指導の重点

6つの重点的課題

- ☆豊かな心の育成
 - 道徳教育の充実
 - 規範意識の徹底
 - 新橋小ルールブックの活用
- 健康でたくましい体の育成
 - 命の教育を柱とした自他の尊重
 - 体力向上を目的とした活動
 - 早朝練習の取組
- ☆国語力及び学習の基盤的能力の育成
 - 全教育活動での言語活動の推進
 - 支援員活用による理科教育の充実
 - スキル学習充実のための全校的取組
- コミュニケーション能力の育成
 - 横浜の時間を活用したふれあい活動
 - 社会的スキル育成のための取組
 - 特別活動の充実
- 情報化社会を生き抜く能力の育成
 - PCを活用した情報活用能力の育成
 - 情報を取捨選択する能力の育成
- 社会の変化に対応する能力の育成
 - 食教育の実践
 - 環境学習の位置付け
 - 福祉教育の充実

小中一貫
9年間のカリキュラム

4つの具体的取組

- 『横浜の時間』
 - 単元構成の充実（各教科・総合・道徳・特活との関連を図った横断的総合的学習）
 - ・横浜が抱える課題
 - ・新橋のまちの特色
 - ・体験的、問題解決的学習
- 小中英語教育の推進
 - 小中一貫した英語教育の推進
 - 英語によるコミュニケーション能力の育成
- 読解力向上に向けた横浜型指導モデルの推進
 - 考える力を核とした読解力の向上
 - 読書活動の推進
- 一人ひとりのニーズに対応した教育の実現
 - 特別支援教育のための体制作り
 - 個に応じた支援の推進

- 幼保小の連携
- 中学校との連携
- 地域連携
- 保護者との連携
- 学援隊
- まちとともにあゆむ教育懇話会
- 人権教育の推進
- 安全教育
- 学力向上
- 学校評価
- 自己評価
- 学校関係者評価

誰もが安心して楽しく豊かに過ごすことのできる学校